



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.1 1

2018.02 発行



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろと)です。

寒いので、自然が雪に覆われてしまつて調査ができないので1月は地味な動きが多かったです。ちよつとした実験をしたり、和歌山県立図書館から本を借りて五十冊くらい勉強したり、富貴地区の奈良との県境の自然を調べに山を歩いたり(植物を目的に行きましたが、テンの足跡が見られて嬉しい!)、1年の計画を立てたりしてました。今回は通信第11号をお届けいたします。

最近の活動としては、前述の他に、「ハーバリウム」というものを作りました。“ハーバリウムとは、ガラス瓶の中にプリザーブドフラワーやドライフラワーなどの乾燥処理をした植物を入れ、専用のオイルなどに浸して保存したもの。造花ではなく本物の花を利用して作る点特徴で、日光を当てたり水をあげたりする必要がなく、長期間鑑賞で

きる。また場所を選ばずに飾れることから、インテリアやギフトとして人気を集めている。“女性に人気でハーバリウム講習会に参加したり、自作ハーバリウムの写真を自慢するのが流行っているようです。

そこで、高野町の周辺集落の自然の魅力をPRするツールになるかもしれないので、実際に周りの植物を使って実験してみました。といっても真冬に実験しているの地味な色の植物ばかりだったので、素材は南天と松葉、松ぼっくり、ヒゲノカズラの四点を使い、専用オイルを取り寄せて漬け込んでみました(写真のビンがそれです)。

漬け込んですぐは綺麗なのですが、時間が経つと共にカビや植物素材の色落ち、オイルの変色・濁りなどが起こる可能性があるようなので、今後は夏まで放置して観察して見守る予定です。うまく行けば、体験イベントにして山奥まで来てもらつてみんな素材を摘んで手作りする仕掛けができるかも、と考えています。

ハーバリウムを作つてみたい方が居られたらご連絡下さい、ある程度人数が集まりそうなら、町内の方向けに体験イベントも実施できそうです。道具さえ揃えれば割と簡単に作れ、中に入れるオイルも危険性のあるものではないので適切

に使えば安全です。また、作るのが面倒な方はかつらぎ町四郷の「道の駅くしがきの里」にて売っていますので覗いてみてください。あー、高野町にも道の駅があつたら色々並べられるし直接お客さんの声が聞けるのにな。

他には、自家採取されている豆を近所の方から頂きました。高野町ならではの豆(ご当地在来種)があるかもしれない、と思つて一昨年から少しずつ集めて、比較しやすいように標本ケース(写真のもの)に入れてあります。大豆系、インゲン豆系など高野町内外の豆を集めて保存し、判別をしようと思つていますが詳しい方が非常に少なく、こちらは難航しています。

ただ、高野町は標高が高いので、紀の川沿いの平野部とは違った豆が代々残つているはずで、継続して何か活用できないか検討していきます。豆以外も集めているので、昔から自家採取の種で栽培しているものがあれば、写真のように少量でもいいので良かったら譲つて下さい。

そして、様々な方が見られるこの紙面に書くかどうか悩んだのですが、もう一つ書くことに決めました。

1月に小さなテスティングイベントを行いました。元々私は「昆虫食」(虫を食べる)というものを普及する活動も高野町外で行つていたので、山奥に人を呼ぶ手段になるかもしれないと考え、筒香地区で実験を行いました。

最近の活動 続き

「虫を捕るところからやつて、調理して食べるよ」という告知をして集客し、実際に参加者と共に1月の山の中で倒木の中からオゴキブリ(植物食性で木屑だけ食べる種)とカメムシを集め、冷たい川にも入つてカワゲラやトビケラの幼虫(通称川虫)を捕獲して、調理して食べました。※使つた昆虫は全て綺麗なお虫です。

テスト実施の三日前にイベント告知しましたが、なんと神戸から女子大生が、奈良から料理人のご夫婦が申し込んでくれて、「真冬に本当に山奥まで来てくれました。こんな内容で!」。そして写真は調理時のものですが、この後調理している虫を食べるというのに、見てください、この笑顔。みんなニコニコしながら楽しんでくれました。ということで、今年暖かくなつたらまた出来たらいいなあと思つています。お食事前後のみなさま、すみません。



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみならずと動いている案件につきましても、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いなか暮らしやいなか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きませんが、まだまだお客様は来ておりません。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売化などを検討・提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、

花坂の手作りコンニャクや金山寺味噌のファンが生まれています。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、薬草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せっかく富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりませんが、他にも「こんな地域になればいいのに」「こんな活動ができればいいな」という思いはたくさんあります。ご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記事のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

イベント情報

3/17 石垣積み体験をやります。

筒香地区にて、崩れた石垣の現場を使って、石垣積みに興味のあるヨソモノを呼んで「石垣を修復する」ことを売りにした体験イベントを行います。こちらから「来て下さい」とお願いするのではなく、興味のある方に自ら来てもらって、肉体労働をやってもらいます。（現在告知中で何人来るかは全然不明）そのニーズを把握する実験的な意味合いも込めて実施します。学校そばでやる予定なので、もし良かったら覗きにお越し下さい。



探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。前号と被るものもあります

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●ケンボナシの実

その形が気になっており、まだ生食したことがないので、食べてみたいです。有ったら教えて下さい。



●ムクロジやサイカチ

洗剤や石鹸のない時代に使われていた、ムクロジ(写真左)やサイカチ(写真右)で実際に洗濯してみたいので、採っても良いところがあれば是非教えて下さい。



宜しくお願い致します。



●クロモジ

爪楊枝作りの体験プログラムを作って、地域に人を呼べないか考えているので、クロモジを採集しても良い場所をご存知の方はご一報ください。町外の友人に聞いてみたところ、「やってみたい」という声が結構ありました。

●空き家情報を教えて下さい。

利用しても良い空き家がありましたら教えて下さい。修理が必要ということであれば、「古民家の修理」自体もイベント化して、手仕事体験希望者をココまで引っ張ってきて参加者みんなでコツコツ修理するという企画もできるのではないかと考えているので、すぐに住めなくとも、キレイじゃなくても、大丈夫です。

●クチナシの実

染色に使ってみたいので、有ったら教えて下さい。



編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございました。寒さも峠を迎え、我が家の室温は日々0度付近を行ったり来たりしています。そして、とうとう家の中の全ての蛇口が凍結し、先日台所の混合水栓が凍結により壊れてしまった修理も無理なようで、買い替えることになりました。住み始める時に新しい物になったばかりだったので、凍結に対する知識不足でやっつけました。悲しい……。台所は寒すぎて、油も凍っていました。本当は料理をするのは好き(美味しいかは別にして)なのですが、料理をする気にならず、カップめんを過す不健康な生活に。

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 11 2018年(平成30年)2月
制作・編集者／
高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと
〒648-0402 和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.1 2

2018.03 発行



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろと)です。

先月号では台所の水栓が凍結により壊れたと書きましたが、その後、トイレも凍結により壊れました。おかげで自分がトイレに行きたくなる前に、朝イチで凍っていないか・壊れていないかを確認する習慣が付きました。そして、私は「寒い寒い」と思っているも植物は少しずつ成長していて我が家の庭には雑草とフキノトウが芽を出していました。いつの間にか足元から春は近づいてきているようです。

最近の活動としては、富貴地区では私は初めてのイベントでもあり、2月22日の旧暦で七草の日に、「若草を摘んで七草粥を作ろう!」という小さなイベントを行いました。

さすがに新暦での七草の日(1月7日)では早すぎて野草が生えていないし雪で探せないの、ひと月遅らせてみて、まだ生えているかも分かりませんが、食べられる野草も入れたら本来の七草が集まらなくても何種類かにはなるだろうと考え、イベント化してみました。

2月のまだまだ雪の降る時期なので開催できるか不安でほぼ告知していませんでしたが、平日でも大阪と奈良から三名の方が遠く山奥まで来て参加してくれました!

女の子はバスでの山道に「酔った」らしいので、我が家で一息ついてから若草探しを開始。

小道を歩きながらみんなを探して・掘って・抜いて・主催者なのに泥にハマってさあ大変!にもなったりしながら採集して、まだまだ寒い時期ですが全部で十種類(ノビル、セリ、タネツケバナ、ハコベ、ギンギシ、スイバ、カラシナ、畑からはぐれたニンニク、ポロギク、フキノトウ)が集まりました。そして、冷たい水で洗って刻む作業もお手伝いして頂きながら、

- ・本日メニュー
- ・九草粥(フキノトウ以外全部)
- ・フキノトウ味噌
- ・ギンギシお浸し
- ・カラシナ大根おろし
- ・白ご飯

できあがったのは七草粥ではなくて、色々な若草でんご盛りの九草粥になりました。

香草類は量を少なめに組み合わせたので味のバランスも取れているが、噛んだ瞬間「あ、ニンニクだ」「ギンギシ葉のヌルヌルだ」とか分かるものもあり、クイズみたいで楽しかったです。

参加者のお子さんも、美味しいと言ってくれてお茶碗全部食べられていました。

また、オマケでその場で作ったフキノトウ味噌を薬味にして九草粥を食べても大変美味しかったです。

これで邪気払いも完了。天候次第ですが2月でも富貴でイベントができることがわかり、勉強になりました。



た。来年はセリの割合をもっと入れてみようかな。

追伸

参加者のお子さんは、私のオヤツとして机に置いてあった自家採集「乾燥トシグリ(マテバシイの葉)」をバクバク食べていました。上の右側写真のお茶碗の脇にあるのが食べカスです。何の味も付いていないのですが、美味しいらしく、超気に入っていました。片手いっぱい分くらひは食べていました。アクヌキしたけど、もともと渋みがあるから多少苦いハズなんだけどなあ...

話は変わって、もう一つ。富貴中学校の授業の、豆からの「豆腐づくり」に参加させていただきました。

その授業は、前日に浸水させておいいた豆を細かく砕くところから始まり、煮て、絞って豆乳にして、ニガリで固めていきます。

最近の活動 続き

途中、たんぱく質の凝固の話があったり、豆腐を応用した高野豆腐の作り方の話もあったりと学校の授業としての部分も見せて頂きながら、生徒や先生方と和気藹々と作業し、普通のお豆腐と黒豆豆腐が完成! さっそく作りたてを頂きます。味や舌触りが市販のお豆腐とは異なり、美味しかったです。そのうち手作りで作りたいな! と思いながらもまだ一度も豆腐をイチから作ったことがなかったの、私も一緒に勉強になりました。



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみならずと動いている案件につきましても、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いななか暮らしやいななか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きませんが、まだまだお客様は来ておりません。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売化などを検討。提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、

花坂の手作りコンニャクや金山寺味噌のファンが生まれています。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、薬草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せっかく富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりませんが、他にも「こんな地域になればいいのに」「や」「こんな活動をすれば良くなるのでは」「ないか」といった地域づくりに関する皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。

前号と被るものもあります



イベント情報

3/17 石垣積み体験をやります。

筒香地区にて、崩れた石垣の現場を使って、石垣積みに興味のあるヨソモノを呼んで「石垣を修復する」ことを売りにした体験イベントを行います。こちらから「来て下さい」とお願いするのではなく、興味のある方に自ら来てもらって、肉体労働をやってもらいます。(現在告知中で読売新聞に載せて頂きました！) そのニーズを把握する実験的な意味合いも込めて実施します。学校そばでやる予定なので、もし良かったら覗きにお越し下さい。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●ムクロジやサイカチ

洗剤や石鹸のない時代に使われていた、ムクロジ(写真左)やサイカチ(写真右)で実際に洗濯してみたいので、採っても良いところがあれば是非教えて下さい。



～【2月の事件簿】～

2月7日ごろ、高野町内某所の個人宅の洗濯物干し場に、見たことが無い女性用下着(ボディスーツ)が2枚かかっていたそうです。もし盗まれた方が見ておられたら、まだ保管されているのでご連絡下さい。既に警察には連絡済ですが犯人はまだ捕まっていません。同じ犯人かどうかは不明ですが、周辺ではこれまでも複数回盗難事件があり、町内の皆さま注意や用心をお願いします。



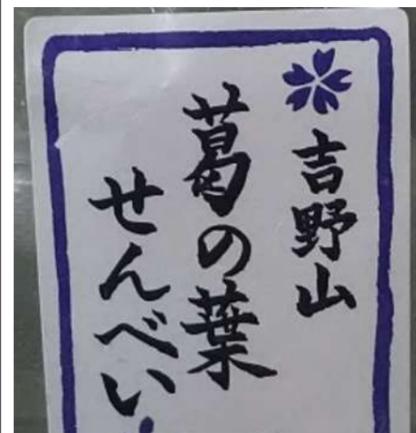
●薬草を調査したい場所をご提案下さい

(町内全地域対象)

昨年高野町内で新たな産業づくりのために薬草栽培(食べられる野草や海外のハーブなども含む)の取り組みを検討しております。その一環として去年12月に高野山で生薬に関する「流通・市場に詳しい」の専門家の方をお呼びしてお話をいただきましたが、今年は別の、薬草の「品種鑑定・栽培方法」の専門家にも来て頂いて、現場を見てもらって、既に当地に自生して活用できるものの鑑定や、当地の気候や土壌に合う栽培用の薬草の推定などのアドバイスを頂く予定です。

つきましては、その専門家の方に見ていただく場所を選定しようと思うので、見てもらいたい場所についての立候補をお待ちしています(一応先着順ですが、先生の体は一つしかないのと役場の予算の関係上呼べる回数が限られるので、事前に私が下見して写真を撮り、専門家の先生が来町前に打ち合わせし、検討が難しい場所の場合は大変申し訳ありませんが現場下見をお断りする場合もあります)

お申込締め切り：3月20日まで
お問合せ・お申込先は下部をご覧ください。



こんなんあります例。
野草や薬草の活用方法を調査するのに、奈良県の道の駅へ寄ったところ、「クズの葉」を商品化したお煎餅がありました。私自身いろいろな商品開発のお手伝いをしてきたのですが、クズの葉を使った煎餅は初めてみました。他の地域には無い商品です。ただ、こういった身近な野草でも実は商品にはなりません。そして、それが田舎の特産品の魅力として都会の人に受け取られたりします。

皆さんの周りにあるモノを活かして、高野町から色んなものを発信していきましょう！

名称：葛の葉せんべい
原材料名：上白糖、小麦粉、鶏卵、吉野葛、吉野葛の葉、(原材料の一部に小麦・卵を含む)
内容量：80g
賞味期限：2018年3月15日
保存方法：直射日光、高温多湿を避け、保存

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 12 2018年(平成30年)3月
制作・編集者／
高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと
〒648-0402 和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com

編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。うちの家には和式のトイレもありました。最近個人宅のトイレが減っていき、それはそれで文化が無くなっていく気がするので我が家はそのまま残そうと思っています。ただ、新しいものと比べるとやはり使い勝手はちよっと悪いので、改善してみました。「杉の生葉を採ってきて便器にたくさん敷いただけ」これにより、尿ハネの減少、匂いの軽減、精油成分による抗菌・抗カビ作用、水場に集まる虫除けにならないかと思って実験中。



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.1 3

2018.04 発行



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろと)です。

支援員としてこれまで色々と地域活性化のお手伝いをさせて頂きましたが、私の任期もあと1年を切りました(この新聞もそれに併せて終了になります)。きつと冬は寒すぎて活動量が減り、集客も難しいので実質のお手伝いで関われる期間は今年いっぱいになるのかな、と思います。ただ、今年も昨年度までの経験を活かして更に磨かれた内容の仕掛けやこれまでに無い仕掛けをドンドン行っていこうと思ってるので、あつと言つ間に過ぎてしまふかもしれないが最後まで皆さまにお付き合い宜しくお願いいたします。

ます。

最近の活動としては、3月の晴天の中、筒香寄合会様と共催、そして和歌山社会経済研究所に協力を頂いて、崩れた石垣をみんなで修復するイベント「石垣ツムツム」を開催し、ケガ人も無く無事終了することができました。

地域側5名、外からの参加者10名が集まり、私も含めてほぼ全員シロウトでしたが午前中から3時半くらいまでガッツリお手伝いして頂き、予定以上に現場の石垣を修復することができました。ありがとうございます。

実際の崩れた現場が目の前に有つて、みんな石垣積みに興味があつて、高齢だけの確に指示を出してくれるゲンちゃん師匠(89歳!)が居て、そして終わりの時間が決められてる中で全ての歯車が噛み合い、当日初めて現場で会つた皆さんにも拘らず、熱いエネルギーとチームプレイで運営側として見ても、石を積む作業を手伝つても、非常に面白かったです!。今年中にまたやりたいなあ。

△当日の石垣積みの流れ△
現場の広く下草刈り(前日までに準備)
石集め(前日までに準備)

← 崩落場所に生えたススキを掘り起こして除去
← 修復エリアに落ち込んでいる石の除去

← 修復エリアに土を盛っていく

← 同時並行で周辺から(水害で遠くに流された)石と土を回収

← 積み前に少し座学で積み方の勉強

← 修復エリアにある程度土が盛れたら、石を積んでいく

← 大きな石を積みながら、後ろに中ぐらいの石と小石を積んで固定
さらに後ろに土を入れて空間を埋める

← この作業を繰り返す
形も大きさも全部バラバラの石をパズルのように組み合わせ、3段×4段積んで、石垣の完成!
2m×4m×高さ1mの三角形エリアが修復できました!

最近の活動 続き

先日、岩出市の根来寺で行われたイベントに参加してきました。福祉関係の事業所がメインで出店されるイベントでしたが、高野町の産物(ヒノキヒモ、薄板、金山寺味噌、いなな味噌、こんにやく、奈良漬等)を持っていきました。残念ながら来客数がかなり悪くあまり売れませんでした。お客様から良いアドバイス頂きました。

その方は以前紙面で紹介したハーパーリウム(画像のようなビンの中に特別なオイルとドライフラワーを入れて作るインテリア雑貨)の作家さんで、私が持参したヒノキヒモと薄板を見てアイデアを思いついたようでした。

そのアイデアとは、「ヒノキヒモや薄板を適当な大きさに切って、メッセージボードとして何か文字や絵を書いてからビンの中に沈める」こと。元々中に入れる素材は植物なのでヒノキヒモや薄板との相性が良いのと、薄いので光に当たった時に光が透過するのが良いそうです。今後のPRの手段として使いたいと思います。

※画像はコトノカ様HPより引用。



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましても、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いなか暮らしやいなか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きまして、またまだお客様は来ておりません。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売化などを検討・提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、

花坂の手作りコンニャクや金山寺味噌のファンが生まれていきます。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、薬草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行う予定です。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せっかく富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりませんが、他にも「こんな地域になればいいのに」「こんな活動をすれば良くなるのでは」「ないか」といった地域づくりに関わる皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。

●薬草を調査したい場所のアンケート結果

昨年高野町内で新たな産業づくりのために薬草栽培(食べられる野草や海外のハーブなども含む)の取り組みを検討しております。その一環として去年12月に高野山で生薬に関する「流通・市場に詳しい」の専門家の方をお呼びしてお話をいただきましたが、今年は別の、薬草の「品種鑑定・栽培方法」の専門家にも来て頂いて、現場を見てもらって、既に当地に自生して活用できるものの鑑定や、当地の気候や土壌に合う栽培用の薬草の推定などのアドバイスを頂く予定です。

前回のたなかめ通信にて調査場所のアンケートを行いました。筒香地区以外は声が無かったため、筒香地区をモデルに進めて行きたいと考えています。次の勉強会の日程や内容が決まり次第また紙面にてご案内致します。

●高野町ボランティア希望者の受け皿づくりのご提案

高野町内の非営利団体や各地区を対象にして、地域づくり、防災対策、景観保護、環境保全、道普請、神事の支援、獣害対策、川の清掃などの、やりたいけれど人手が不足に実施されていない又は先送りになっている「地域の課題や企画」を町外のボランティアの方にも手伝ってもらえるような仕組みを作れないかと考えています。

まずは町内・町外・県外へボランティアを募って参加したい人の名簿を継続的に作る。

↓
同時に町内の非営利団体や各地区の解決したい困り事を事務局が受け付ける

↓
困り事の内容を各ボランティアへ伝え、困り事ごとにそれに参加したい人を集める

(参加者の関心はバラバラだと思うので確実に集まるかは不透明。)
↓
これにより地元の方とヨソモノとで協力して地域の困り事を少しでも解決できる(のではないかと?)

どんどん各地区内では過疎化や高齢化で人手が不足、役場に手伝ってもらおうということも難しくなっていると思います。そこでこのようなボランティアの一括した受け皿を作り、県内県外様々なところで告知してボランティア登録者を増やして来てもらえれば、より良い高野町の町づくりにつながるのではないでしょうか? まずは皆さまの需要を確認したいので、改めてアンケートなどさせて頂く予定です。

イベント情報

4月は今のところありません

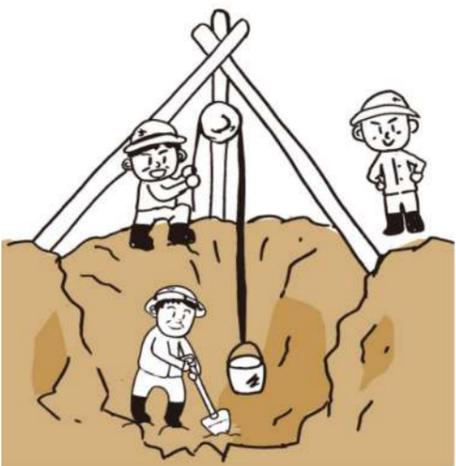
ただ、イベントでよく使わせて頂いている旧筒香小学校の内部について、最近よくある日本各地の廃校活用の例では耐震工事などで非常にキレイに現代的に修繕される校舎も多いのですが、筒香小学校内部はかつての様子が良く残っており、「懐かしさやレトロ感」を売りにして他の地域と差別化できそうなので、もっと整理や掃除をして、外壁も汚い部分は修繕して、イベント参加者の方にも教室を見てもらえようようにしたいと考えており、それをまずは外部の方に手伝ってもらおうイベント化をできないかなと検討しています。



探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●井戸掘り

井戸掘りの技術に興味があるので、これから井戸を掘られる方やご自身で掘れる方が居られたら是非お話を伺わせてください。現場のお話を学びたいです。私の他にも知り合いから「学びたい」という声はよく聞くので、もしできれば、これもイベント化して山奥まで集客したいです。



●石臼

その方それぞれのお肌や年齢に合ったオリジナル化粧品を何でも作っている友人がいるのですが、石臼で粉にするところからやりたいらしいので、もし使える石臼がありましたら譲ってもらえないでしょうか。私も欲しいです~

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 13 2018年(平成30年)4月
制作・編集者/
高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人たなかひろと
〒648-0402
和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com

編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。最近知り合った中国人の方から春ならではの美味しい話を聞きました。そこらへんに生えているタンポポやナズナの葉っぱや根を細かく刻んで餃子にすると大変美味しいらしい! 多少アクヌキはするものの苦味がまた良いそうで、実際に中国では一般的な「野菜」として食べられているそうです。漢方医学ではタンポポが使われ、和漢医学でナズナは使われています。どちらも健康に役立つ植物だし、面白そうなので今度実験してみようと思います。



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.14

2018.05発行



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろひと)です。

まだまだ夜は寒い日がありながらも、気持ちの良い天気が続き、今年は富貴の桜の花も楽しむことができました。4月になって暖かくなったらアレしよう、コレしようと色々考えていたものの、一気に自然が移り変わって全然予定に追いついてないです。今回は通信第14号をお届けいたします。

最近の活動としては、ほとんど花坂地区の話題を取り上げることがなかったのですが、やっとちょっと実績を作ることができました！昨年から大阪のイベントに花坂地区の団体「花坂さくら会」さんの作った、手作りコンニャクや金山寺味噌を持って行ってPR・販売活動を行っていました。定期的な持っていったのでファンの方が生まれ、リピート買いしてくれているお客さんも少しずつ出てきました。ただ、イベントに来られているお客さんは他の出店者のモノも買っているあるいは買う予定なので重さがかさ張るコン



品名：田舎味噌
原材料名：大豆、米、塩、もやし(発酵菌)
内容量：500g以上
保存方法：10℃以下
製造者：花坂さくら会
和歌山県伊都郡高野町花坂651



ニャクや金山寺味噌を複数個買う方は少なく、また、私も同時に来る他の来客も対応したり商品説明しないといけないのでゆっくりにお客さんと話すことも中々できず味の感想を聞き取ったり、提案型営業したりということが難しく、コツコツと販売していく、という状態でした。

そんな中、先日と歌山で出店したイベントでたまたま来場していた友人(洋菓子・パン作りのプロ)に「花坂さくら会」さんの田舎味噌を1個買ってもらったところ、とても美味しかったということの後から個人で12個もまとめて追加注文してくれて、更には「できるなら味噌樽ごと買いたい」と言ってくれています。私がお願いした訳ではなく、純粹に味でファンになってくれたようです。和歌山の良いものを和歌山の方に売るのが難しい中で、様々な手作り味噌の中で一番美味しいと気に入ってくれました。

さっそく聞き取りに行ってきたところ、本人いわく、『このお味噌はとにかく香りが良く、特に数種類の野菜を油揚げと合わせたお味噌汁は絶品でした。味噌汁にして一晩置いても熟成が進むよう野菜にも味が深くしみて、さらに

香りも増して一層おいしくなります。お味噌汁をあたためると部屋中にふわっととてもいい香りが広がります。こんなお味噌は初めてです。』と褒めてくれました。

左の写真で原材料を写していますが、大豆、米、塩、もやし(野菜のモヤシではなく、ここでは自分達で種麹から麹菌を起すところからされていて、その名称です)とシンプルな材料を仕込み、1年掛けて発酵・熟成させています。プロの方もとても美味しいと言ってくれているので、良かったら一度お試し下さい。

■買える場所：なるこ川直売所(和歌山県伊都郡高野町花坂651)
営業時間：土日の10時~17時まで。

その他販売品目：手作りコンニャク(刺身可能)、金山寺味噌など。又は、毎月21日に高野山で行われている報恩高野市に定期出店されています。
(※私田中はどこにも居りませんのであしからずご容赦ください)

最近の活動 続き

去年から続けて、富貴・筒香地区の在来のスモモを調査しています。先月は、東京農業大学元教授に依頼して、3ヶ所のスモモの古木について花を調査して頂いたところ、3種類全て違う品種であるということが分かりました(ただし、スモモは昔からの在来品種がほとんど研究されておらず品種名も無かったりするので確定診断は難しい)。今後は実と葉について、調査して頂く予定です。

全て2地域に50年以上前からあるスモモの在来種で古木



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみならずと動いている案件につきましても、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いなか暮らしやいなか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きまして、またまだお客様は来ておりません。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売化などを検討。提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、

花坂の手作りコンニャクや金山寺味噌のファンが生まれていきます。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、薬草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行う予定です。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せっかく富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりますが、他にも「こんな地域になればいいのに」「こんな活動をすれば良くなるのではないか」といった地域づくりに関わる皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。
なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。

前号と被るものもあります

●旧筒香小学校用のカーテン

左のイベントページに書きましたが、6/16に旧筒香小学校の大掃除を行う予定です。

廃校ですが、今は地域の集会所や加工所、そしてイベント会場などに使われており、まだまだ現役で使われております。

ただ、普段使っていない教室は汚れや虫の死骸が溜まってきているし、学校全体をキレイにしたなら何か新たなニーズ(今後検証予定)が生まれるかもしれないので、ゼーんぶまとめてキレイに大掃除する予定です。

そこで、ついでにボロボロになっている教室のカーテンも全部取り替えたいと思うので、どなたかキレイなカーテンが眠っていたら譲って頂けないでしょうか？

サイズは高さ220cmで、横幅300cm、これが9セット欲しいのですが、柄がバラバラだったり数が1個でも大丈夫です。取りに伺います。宜しくお願いします。

<地域おこしに対する考え方(田中個人の考えです)>

「色々やっていて何がしたいのか良く分からない」「何か一つに絞った方が良いのではないか」というご指摘を間接的に頂くようになったのですが、それに対して会って直接の回答ができないまま先入観を持たれるのも困るのでこちらで説明させていただきます。

地域おこしは、移住促進、空き家対策、子育て支援、産業振興、起業支援、農業支援、耕作放棄地対策、獣害対策、インバウンド対策など様々な課題について対応していかないといけない取り組みです。しかも一つの課題にだけ熱心に取り組んで成功したとしても、空き家が無ければ人は住めないし、住んでも医療や子育ての環境が悪いなら出て行くことになるなど、なるべく平行して複数の課題解決に取り組み、それぞれを同時進行して少しずつでも解消していくことが重要です。それを続けていくことで有機的な連鎖でどんどん課題解決が速く進んで行くようになります。

私は、高野町に移住して地域おこし協力隊の業務を受託してから、町内で空き家を探したり、いなか暮らし希望者向けのイベントをしたり、商品開発試作をしたり、耕作放棄地対策を考えたり、外国人対象のツアーをテストしたり、子育て支援の勉強会を開催したりして、このような同時並行での課題解決に取り組んでいることについて、個人の私一人では当然解決することができるとは思ってはいません。ただ、それぞれの課題について行政や住民の方から見えない視点を持つことが出来、他の日本国内各地の地域おこし施策の成功事例や失敗事例(普通の行政では視察に行かない失敗事例の方が大事)を学んでいるのでそれを叩き台にして、町内を色々調査して、高野町のそれぞれの地域に合った特有の資源とそれを活用した解決方法を模索し、提示することまでは出来ると考えて今いろいろと動いています。

イベント情報

6/16に旧筒香小学校の大掃除やります。



時々イベントでお借りしている旧筒香小学校について、イベント化して外から関心のある方に来ていただいて戦力とし、地元の方と一緒に大掃除をやる予定です。

卒業生や学校関係者の方見ておられましたら、久しぶりに覗きにいらっしゃいませんか？ そのまま残っている部分もありますし、改装された部分もあります。

当日は10時半ごろから15時すぎくらいまで掃除・片づけを行う予定です。チラっとでも良かったらお越しください(雨天決行)。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●古い壁土

ちょっと再生を試みたい古民家の一部があるので、これから壊す予定の古民家や崩しても良い古民家の壁があったら教えて下さい。

一から壁土を作る(寝かせる)のは大変なので、もし頂けたら古い壁土が欲しいです。



●石臼

その方それぞれのお肌や年齢に合ったオリジナル化粧品を何ころでも作っている友人がいるのですが、石臼で粉にするところからやりたいらしいので、もし使える石臼がありましたら譲ってもらえないでしょうか。私も欲しいです。

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 14 2018年(平成30年)5月
制作・編集者／
高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人たなかひろと
〒648-0402
和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com

編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございました。高野町の地域おこし協力隊活動とは別に、和歌山県内で昆虫食の普及活動をもう5年くらい行っているのですが、先日「ビーバル」というアウトドア系の月刊誌(小学館発行)の5月号に写真が載りました。関西で他にも昆虫食の普及活動を行っているメンバー達と共に三重県に行き、ピンポイントで増殖している外来昆虫「フェモラータオオモトハムシ」の駆除と美食の場面を取材されました。ちなみにこの虫の味は、コクのある豆乳味で美味しいです。



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.15

2018.06 発行



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろと)です。

暖かくなってきましたが、まだまだコタツ布団は乗ったまま、暮らしています。片付けるのが苦手なので、梅雨が明けるまではそのままありそうです。あ、梅雨で思い出しましたが、去年自家製の梅干しを食べた後に種を何となく庭に投げていたら、春になって南高梅の苗木に立派に育っていました。高い濃度の塩水に漬かっていたのに、種が中心が守られていたなんて不思議です。

今回は通信第15号をお届けいたします。

最近の活動としては、文章を長々と書くようなことはできていないので、いくつかを小さくまとめてご紹介。



手伝いしました。去年と比べて参加者が増えたのと、先月5月の時には、写真には写っていませんが併せて10人で作業したので大変はかどりました！次は6月23日、飛び込み参加歓迎です。私プラス大学生が手伝いに来る予定です。

二つ目。筒香寄合会の新谷会長と一緒に、16日に行う旧筒香小学校のお掃除イベント(裏面のイベント情報のところに掲載)の告知に「FMはしもと」まで行って来ました(写真左)。夜の一時間番組に出演させて頂き、なんと生放送の中、二人で私の住む富貴や筒香地区について紹介。ラジオなのでマイクに向かうだけで、あんまり緊張しなかつたと思っただけですが、生放送だと緊張しました。今回知り合いの番組パーソナリティーの方にお願いで出演させて頂いたのですが、FMはしもとは橋本市・かつらぎ町・九度山町・高野町でも受信できるので、筒香小学校卒業生や筒香地区に縁のある方に届いて欲しくて出演してきました。当日ふらつても良いので来てもらえるといいなあと思えます。



三つ目。身近にあるものを使ったイベント化を考えているので、旧筒香小学校の屋上で、「星空」がどんな風に見えるか調査してきました(写真右上)。周りを山に囲まれていて都市部からの明かり

は入ってこないし、空気も澄んでいるのでさぞや星空がキレイに見えるだろうと思っていたのですが、夜になってみると学校脇の道路沿いにある街頭の明かりが屋上で入ってきて、まぶしくて北側の夜空は観察できませんでした。ただ、後でこの街頭の蛍光灯は外せることが確認できて、一時的に外したらキレイな夜空が見えるはずなので、それもどこかで一度確認してみようと思っています。屋上だと高いので虫も来ないだろうと思っていたら、意外と虫が寄ってきました。簡易テント型蚊帳を持っていったら良かった(ください)。



四つ目。クラフトビールの工房2ヶ所にビール作りの見学に行ってきました。海外ではビールの中に果物やハーブを入れたものが普通に飲まれているので、富貴・筒香地区特産のミョウガが利用できないかと思ひ、本来は見学受入れ

最近の活動 続き

をしない奈良県某所のビール工房と、和歌山県某市のビール工房に自分のコネで見学に行きました。

結論として、製造元としてはたぶんこの会社も、クラフトビールはまずは定番品(果物やハーブの入っていないもの)を作ってから、その売上が安定化してから、果物やハーブを使った簡易を作る。ただ、それも和歌山県なら「みかん」「うめ」「サンショウ」といった全国的に有名な素材から商品化していくので、「ミョウガ」を使うことはまだまだ無いであろう。ただ、これまでの話は日本人向けのクラフトビールの話で、実際に作ってみて美味しければ海外向けの製造元なら可能性はあるかもしれない、というような話でした。美味しかったら、ブランド力の違いで、先に生産量一位の高知県で商品化されそう……。



※自分の運転で行って帰ってきたので、全く現場での試飲はしていません。工房での試作品などもあったのですが、飲めず、残念。

今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましても、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いななか暮らしやいななか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きまして、またまだお客様は来ておりません。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売化などを検討。提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、

花坂の手作りコンニャクや金山寺味噌のファンが生まれています。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、薬草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行う予定です。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せっかく富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりませんが、他にも「こんな地域になればいいのに」「こんな活動をすれば良くなるのでは」「ないか」といった地域づくりに関する皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。

●旧筒香小学校用のカーテン

左のイベントページに書きましたが、6/16に旧筒香小学校の大掃除を行う予定です。廃校ですが、今は地域の集会所や加工所、そしてイベント会場などに使われており、まだまだ現役で使われております。ただ、普段使っていない教室は汚れや虫の死骸が溜まってきているし、学校全体をキレイにしたなら何か新たなニーズ(今後検証予定)が生まれるかもしれないので、ゼーんぶまとめてキレイに大掃除する予定です。そこで、ついでにボロボロになっている教室のカーテンも全部取り替えたいと思うので、どなたかキレイなカーテンが眠っていたら譲って頂けないでしょうか？ サイズは高さ220cmで、横幅300cm、これが9セット欲しいのですが、柄がバラバラだったり数が1個でも大丈夫です。取りに伺います。宜しくお願いします。(イベント終了後でもOK!!)

●左官用のコテ、要らないのあったら下さい

自宅の崩れてきている壁とちょっとイベント化して壁塗りをした古民家があるので、もし要らないもので使えそうなコテ類、コテ板、混ぜる舟があったら譲ってもらえないでしょうか。職人さんに先生になって頂いて、シロウトを集めてみんなでヌリヌリできないか検討しています。



写真は以下のサイトから引用させていただきました。
<http://www.misyuku-suzuki-kanamonoten.com/sakankotenorekisil.html>

イベント情報

6/16に旧筒香小学校の大掃除やります。

時々イベントでお借りしている旧筒香小学校について、イベント化して外から関心のある方に来ていただいて戦力とし、地元の方と一緒に大掃除をやる予定です。卒業生や学校関係者の方見ておられましたら、久しぶりに覗きにいらっしやいませんか？ そのまま残っている部分もありますし、改装された部分もあります。当日は10時半ごろから15時すぎくらいまで掃除・片づけを行う予定です。チラっとでも良かったらお越しください(雨天決行)。



探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●アマチャ、ガマズミ、ハシバミ、ナツハゼが生えていたら教えて下さい。

※アマチャはアマチャヅルでは無い方です。木です。



←ハシバミの花
写真は以下より引用
<http://gikou2.seesaa.net/article/435840346.html>

←ナツバゼの実
写真は以下より引用
<http://had0.big.ous.ac.jp/plantstdic/angiospermae/dicotyledoneae/sympetalae/ericaceae/natsuhaze/natsuhaze.htm>

編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。我が家の前には田んぼがあるのでよく覗いています。水が張られた後には、イモリ、ドジョウ、タニシ、ヒル、糸ミズが居ました。その中で、タニシをやってみてみたかったことを実験。昔の料理関係の文献を見ると「タニシは美味しい」と書いてあるのですが、本当にそんなに美味しいのか!?。五日間毎日数回水を入れ替えてドロ吐きさせたあと、殻ごと湯がいてタニシスープを作ってみました。なんと、「黄金色の美味しい出汁」が取れました!

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 15 2018年(平成30年)6月
制作・編集者／高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと 〒648-0402 和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com